

くじによる抽選方法

郵便入札において、開札の結果、落札となるべき同価格の入札をしたものが2者以上の場合、下記の方法で落札者を決定する。

1. 入札書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

入札参加者は、入札書の「くじ番号」欄に000～999の3桁の任意の数値をあらかじめ記入した上で、入札書を作成、郵送する。なお、「くじ番号」欄の各桁の数値が不明確又は未記入の場合は、当該数値に9を割り当てる。

【くじ番号記入例】

(例1)

3	8	2
---	---	---

この場合、くじ番号は「382」となる

(例2)

0	5	0
---	---	---

この場合、くじ番号は「50」となる

(例3)

7		1
---	--	---

この場合、空白部分に9を割り当て、くじ番号は「791」となる

(例4)

--	--	--

この場合、すべて空白のため、くじ番号は「999」となる。

2. くじの手順

- ①入札書類の郵送における書留番号（11桁）の下4桁の小さいものから順に「くじ番号」（0, 1, 2, …）を付与する。（下4桁が同一の場合は、上位の数字を参照する。）
書留番号とは、郵便追跡用に使用する番号で、(3桁)-(2桁)-(5桁)-(1桁)の合計11桁で表示された番号である。
- ②同額の入札の入札書に記載された「くじ番号」を合計し、合計値を同額入札者の数で割り、余りを算出し当選番号とする。
- ③当選番号と一致した「くじ番号」の付与者を落札者とする。

(例) 3者が同額入札の場合

- ①入札書類の郵送における書留番号（11桁）の下4桁の小さいものから順に「くじ番号」（0, 1, 2, …）を付与する。（下4桁が同一の場合は、上位の数字を参照する。）

入札者名	くじ番号	書留番号	書留番号下4桁	くじ番号
A社	382	***-**-48732-1	7321	1
B社	50	***-**-85909-4	9094	2
C社	791	***-**-38476-3	4763	0

- ②同額の入札の入札書に記載された「くじ番号」を合計し、合計値を同額入札者の数で割り、余りを算出し当選番号とする。

$$\begin{array}{l} \text{A社くじ番号} \quad 382 \\ \text{B社くじ番号} \quad 50 \\ \text{C社くじ番号} \quad 791 \end{array} \left. \vphantom{\begin{array}{l} \text{A社くじ番号} \\ \text{B社くじ番号} \\ \text{C社くじ番号} \end{array}} \right\} \begin{array}{l} \text{合計} \quad 382+50+791 = 1223 \\ \text{同額入札者数は} 3 \text{ なので、} \\ 1223 \div 3 = 407 \text{ 余り} 2 \end{array}$$

よって、くじ番号2が付与されたB社が落札者となる。